
魔獣物語

ひよく

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔獣物語

【Nコード】

N2033Z

【作者名】

ひよく

【あらすじ】

濃い瘴気に長期間さらされた事で、脳が変化してしまった生物の事を「字魔獣」と呼んでいます。

また、魔獣化してしまった人間の事を「魔人」と呼んでいます。魔獣と戦う戦士と魔術師のコンビのお話です。

「みんなの.jp」等のサイトと重複投稿となっています。

序章 1

空が赤く燃えていた。

妙に美しく、神秘的な光景である。

しかし、それは夕焼けではない。朝焼けでもない。今の時刻は深夜なのだから。

村を焼く炎が、空を赤く照らしているのである。

この場にいるのは、女子供と年寄りばかり。着の身着のまま、村から逃げ出してきた。

村の男達、つまり彼女らの夫や父や息子は、妻や子や年老いた親を村から脱出させるため、武器を取り、突如、村に襲い掛かった醜惡な敵と戦っている。

突然の襲撃ではあったが、それでも男達が負けるとは、彼女らは考えていなかった。

村の男達は、長年の自治の間、ずっとこの村を自警してきた。武器の扱いにも、戦闘にも、慣れている。しかも、彼らを率いる2人の男は、このような小さな村に埋もれているのが不思議なくらい、有能な人物だった。

同じ人間では右に出る者はいないと囁かれる最強の戦士。そして、
‘パスツレラの大賢者’と呼ばれる魔術師。

どの国の騎士団長でも、どの国の宰相でも、勤められる男達である。

伝説にさえなっているこの2人の名を知らぬ者は珍しいが、この2人がこの村で暮らしている事を知る者は、村の外にはほとんどいない。

この2人の力によって、村は幾度もの危機を乗り越えてきた。この2人の男の敗北など、想像する事さえ出来なかった。

しかし、それは先刻までの話である。

女子供と年寄り達は、小高い丘の上から、赤い空を、焼け落ちる村を、絶望の思いで見つめていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2033z/>

魔獣物語

2011年12月7日13時47分発行